



縞模様

古生層の山を歩くと 時々美しい縞模様の入った地層に出会うことがある。チャート地帯の山にゆくと白いチャートと炭質物を含んだ黒い砂岩の縞目がよく発達する。それぞれの縞は厚さ数 cm で規則正しい縞模様をつくることもあるが 不規則にぶつぶつちぎれることもある。このような現象は 性質の異なる堆積物が交互に堆積してできたもので 堆積当時の気候や海流の変化など 複雑な条件がからみあって生じたもので 天然の造型の巧みさを表現している。表題の岩石は 栃木県足尾町の古生層山地を刻んで流れる渡良瀬川の原向付近の右岸の露頭である。ちょうどこの南で沢入花崗岩が貫入してきたため 全体が熱変成作用をこうむり 固いホルンヘルスとなっている。白い縞の石英は 再結晶してかみ合ったモザイク状となり 黒い縞は小さな鱗片状の黒雲母を生じて褐色になり 点紋状に薑青石を生じている。

第9回写真コンクール入選作「縞模様」 地質部 河田 清雄

17頁からつづく

ずかしい地質であるためである。しかし 昭和37年 昭和38年と現場の技術者の努力によって著しく能率を向上しているの あるいは他鉱床をしのぐ数字が現われることも考えられる。表に現れたコア回収率は必要以外の採取しない分も含まれているので 要所のところはこの数字を上回るものである。

以上のように試錐機及び機器製作者 あるいは鉱山における試錐技術者の努力によって 金属鉱山の試錐は 次第にその能率を向上し ますます探査のために役立つようになってきている。

(筆者は試錐課長)

あとがき

読者の質問について

- ・読者のみなさまのご要望により質問箱を設けました ご投稿をお待ちしています
- ・ご質問の内容は 地質調査所の業務に関連性のあるもの たとえば 地質・地下資源・物理探査・地球化学・試錐・測量・分析など
- ・ご投稿は下記どうぞ

東京都新宿区河田町 8

地質調査所東京分室企画課

「地質ニュース読者の質問箱」係

訂正 No.107 14頁の写真 ① ② 説明文の倍率 ×5は ×0.5の誤植につき訂正します

昭和29年 昭和36年各下期鉱床別試錐能率比較表

期別	鉱床別	岩 心		実錐進		総作業		能 率 指 数	対 象 調 査 鉱 山 数
		採取率	速度	時間率	1方当	1工当			
		m	%	m/hr	%	m	m	m ² /m ² 工	
29/下	黒鉱	1,614	40	0.91	34.0	2.48	0.64		9
36/下	黒鉱	4,361	44	0.80	35.0	2.24	1.29	90	200
"	接触	2,691	76	1.58	27.0	3.41	1.51		4
		4,739	83	1.97	33.0	5.20	2.14	152	142
"	鉱脈	1,080	47	0.85	38.0	2.58	1.13		29
		1,786	67	1.55	21.0	2.70	1.26	105	112
"	層状	1,917	34	1.02	38.0	3.10	1.13		12
		3,039	53	1.62	27.0	3.50	1.64	113	145

(能率指数は 昭和29年下期を 100 とした指数)

地質 ニュース

第 108 号 8 月 号

定 価 ￥ 170 円 12

昭和 38 年 8 月 25 日 発行

編 集 工業技術院 地質調査所

発 行人 吉 富 保 重

発 行 所 株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段4の11

Tel. (331) 7 1 7 3・9 3 8 7

振替口座 東京 3 2 2 4 6

総発売元 政府刊行物販売所

東京都千代田区大手町1の5

Tel. (211) 5 5 0 7

印 刷 所 共同印刷株式会社